

4.建設汚泥の再生利用形態別_有効利用事例（泥土圧シールド排泥処理工事 排泥大量排出）

対象原泥	発生種別	地盤改良工事排泥	連続地中壁工事排泥	基礎杭工事排泥	泥土圧シールド排泥
	発生土区分	建設汚泥	浚渫土		
泥土性状	泥土種別	自硬性	非自硬性		
	含水比 (%)	原泥 100% → 貯泥・調泥後 50~60%			
	土質区分	粘性土	砂質シルト	砂質土	
	有機質	含有なし	強熱減量5%未満	強熱減量5~15%未満	強熱減量15%以上
利用区分	利用用途	盛土	埋戻し	道路路体(路床)	植生土壌
	利用形態	自ら利用	個別指定	有償売却	残土利用
要求品質	品質区分	第1種処理土	第2種処理土	第3種処理土	第4種処理土
	pH	特になし	中性		
	強度発現	1日	3日	7日	28日
	再泥化	制限あり	制限なし		
処理方法	施工方法	安定処理	スラリー化安定処理	脱水処理	
	工法名	イーキューブシステム	TAST工法		
使用固化材	高分子凝集剤	S-1T			
	同上使用量 (kg)	5kg			
	固化材	アッシュスター	エコハード	ハーデン	有機質対応型
	同上使用量 (kg)	60kg			
リサイクル量	日平均施工量(m ³)	250m ³	日最大施工量	350m ³	
	総量 (m ³)	13,600m ³	処理機構成	泥土処理専用機 1台	

【概要説明】

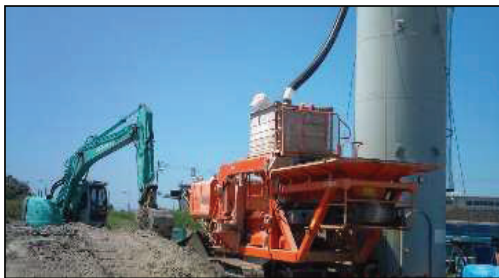
泥土圧シールド工事から排出される掘削土砂を天日乾燥し、場内利用する予定であったが、天日乾燥では要求品質が満足できないことから本技術が採用された。安定した要求品質の確保ならびに工事費の低減も併せて実現した。



泥土圧シールド掘削排泥状況



天日乾燥状況



処理プラント全景



処理土盛立状況